

行政事業レビューシートの点検（簡易チェック）について

令和6年度 第2回 厚生労働省のEBPM推進に係る有識者検証会
(令和7年2月13日)

厚生労働省政策統括官付政策立案・評価担当参事官室

令和 6 年度の行政事業レビューシートの作成に向けた簡易チェックについて

- 令和 5 年度に作成した全ての行政事業レビューシートを対象とし簡易チェックを実施した。（令和 5 年度後半）
- 確認項目は、①アウトカムの設定状況（長期・中期・短期アウトカムが設定されているか）、②長期アウトカムの目標年度の設定状況（目標年度が設定されているか、目標年度が令和 5 年度以前となっていないか）、③「現状・課題」欄の記述について、具体的なデータを用いて現状と課題について論じているか（試験的に生成AIであるChatGPTを用いて○か×かで評価）とした。
- ①及び②については、エクセルを使用して機械的なチェックを行った。
- 事業ごとの①及び②の結果、省全体の③の現状並びに令和 6 年度の取組方針について各部局に送付し、令和 6 年度の行政事業レビューシートが適切な内容となるよう依頼した。（令和 6 年 5 月）

（確認結果）

- ①長期アウトカムのみ設定されている事業の割合が他省庁と比較して高かった
- ②目標年度が令和 5 年度以前となっている事業の割合が他省庁と比較して高かった
- ③「現状・課題」欄の記述について、具体的なデータを用いて現状と課題について論じているかは、約 1 割の事業は×と評価された

（厚生労働省における令和 6 年度の取組方針抜粋）

- 各種政策プロセス（政策の立案・評価・見直し）において「基礎的なEBPM」を実践し、より効果的な政策の立案・改善に努める。特に、予算事業については**行政事業レビューシートを活用し「基礎的なEBPM」の実践を進める**
- ① 全ての行政事業レビューシートについて、品質管理を進める。特に、令和6年度に作成する予算要求に向けたレビューシートに関して
 - ・ 「現状・課題」欄の記述が「あるべき姿」や「ありたい姿」と現状とのギャップを明確にしており、「具体的な課題」もデータ等を踏まえて記述されているか。
 - ・ 「長期アウトカム」が、上記課題を踏まえ「どのような状態がその事業の目的を達成した状態だと考えているのか」が明確となるような設定がされているか。といった観点を主なポイントとして品質向上に努める。

令和7年度の行政事業レビューシートの作成に向けた簡易チェックについて

- 令和6年度に作成した全ての行政事業レビューシートを対象とし簡易チェックを実施する。（令和7年2～3月）
- 確認項目は、令和5年度に作成した行政事業レビューシートの確認結果を踏まえて、昨年度と同様に①アウトカムの設定状況（長期・中期・短期アウトカムが設定されているか）、②長期アウトカムの目標年度の設定状況（目標年度が設定されているか、目標年度が令和6年度以前となっていないか）とする。
- ①及び②については、エクセルを使用して機械的なチェックを行う。
- 行政事業レビューシートの品質向上を進める観点から、①及び②の項目に加えて、「現状・課題」欄について、③事業の目的に対応する形で具体的な問題を記載しているか、④問題に対応する形で具体的な原因を記載しているか、⑤現状をデータを用いて説明しているか、についても確認することとし、これらの項目の確認は、生成AIを活用して行うことを検討しているところ。
- これらの簡易チェックの結果、委託業者において実施した詳細チェックの結果及び令和7年度の実行方針について各部局に送付し、令和7年度の行政事業レビューシートが適切な内容となるよう依頼する。（令和7年度当初）

（簡易チェックスケジュール）

